

(C) Copyright CANVASs Co., Ltd.

=====  
【ソフト名】 SST G1 アップデートインストーラ  
【対象製品】 SST G1 日本語版  
【登録名】 SST G1 Ver.2.0.45.2(日本語版)  
【アプリケーション名】 G1 Update 2.0.45.2 (jp).exe  
【著作権者】 株式会社カンバス  
【動作環境】 Microsoft Windows7/8/ 8.1 / 日本語版  
【配布条件】 1) ダウンロードしたファイルの再配布を禁止します。  
2) 他のメディアへの一切の転載を禁止します。  
=====

<Ver. 2.0.45.2 > 2015.6.26

- 1) ※重要なお知らせ **※必ずお読みください！！**
- 2) 本バージョンアップによる変更内容
  - Netflix capのエクспорт機能・チェック機能の追加
  - ビデオトロン/ラムダのインポートの機能追加・変更
  - ビデオトロン/ラムダのエクспортの機能追加
- 3) ドングル更新手順

 **ご注意！！**

今回の機能追加・変更は、下記のオプションをご購入の方のみが対象となります。

- ビデオトロン/ラムダのインポート
- ビデオトロン/ラムダのエクспорт

上記のオプションをお持ちでない方はアップデートは不要です。

1) **※※※重要なお知らせ※※※**

Ver. 2.0.0.41以降のバージョンから、SSTG1をご利用になるにはユーザーサポート情報が付与されたドングルを使用する必要があります。  
ドングルの更新前に本バージョンアップを適用すると、SSTG1が立ち上がらなくなります。  
ユーザーサポートに加入されていて、ドングルにユーザーサポート情報を付与されていないユーザー様は、3)のドングル更新手順に沿ってドングル更新を行ってください。  
ドングルへのユーザーサポート情報の付与は、本バージョンへのアップデートを適用する前に必ず行ってください。

※Ver. 2.0.0.38以降に dongle を更新されているユーザー様は、すでにユーザーサポート情報が付与されていますので、dongle 更新の作業は不要です。

※dongle 更新は、**ユーザーサポート期間内**のユーザー様へのご対応となります。

※dongle 更新後であっても、Ver. 2.0.0.40 以前のバージョンもご利用いただけます。

ユーザーの皆様にはお手間をお掛け致しますがご理解ご協力のほどよろしくお願い致します。

### ※ご注意！！

dongle 更新のご対応は、平日の弊社営業時間内でのご対応となります。

弊社休業日中にアップデートをされますと、すぐに dongle 更新を行えず、最新の SSTG1 が起動できませんのでご注意ください。その場合は、再度古いアップデートで Ver2.0.0.40 以下にダウングレードしてご使用ください。

## 2) 本バージョンアップによる変更内容

-Netflix cap のエクスポート機能・チェック機能を追加しました。

Netflix 様 (<https://www.netflix.com/jp/>) に cap ファイルを納品する際に、Netflix 様の納品仕様に適合しているか否かをチェックする機能を追加しました。

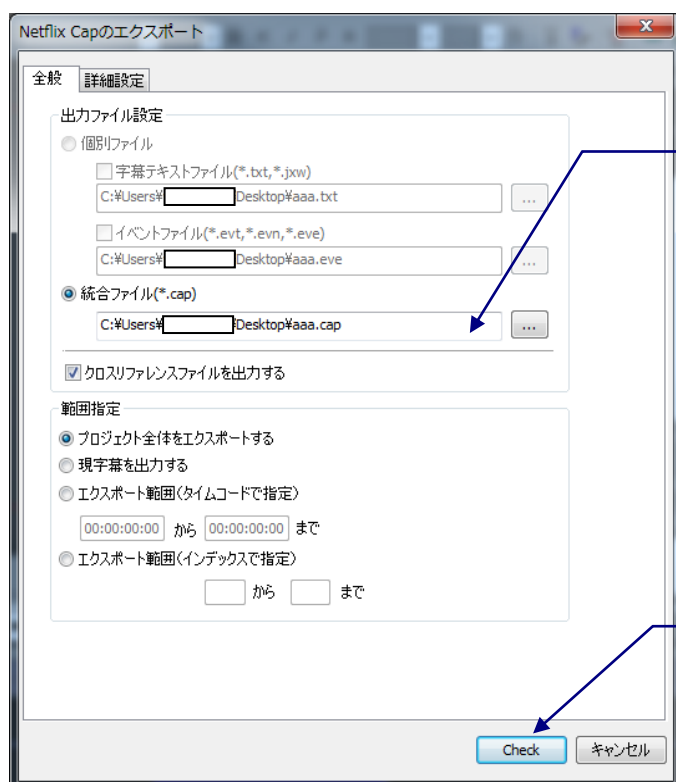
エクスポート時に、データをチェックし「警告」と「エラー」2種類の一覧を表示します。

「エラー」が残っている場合は、エクスポートできない仕様となっています。

**※必ず sdb ファイルを保存してから行って下さい。**

メニューから、[ファイル] - [エクスポート] - [Netflix Cap]を選択します。

【エクスポート設定画面】



出力先・出力ファイル名を設定します。  
※テキストファイル (.txt) ・イベントファイル (.evt、.evn、.eve) は出力できません。

出力設定が完了したら[Check]ボタンをクリックします。

【Netflix 納品データチェック結果画面】

●エラーが 0 件の場合

済	トラック	字幕番号	字幕	チェック項目	チェック結果
<input type="checkbox"/>	A	1	ある企業が開発した...	1秒の文字数制限(1秒4文字)	警告
<input type="checkbox"/>	A	3	スパイの一人ジュリア...	文字数制限(横字幕)	警告
<input type="checkbox"/>	A	3	スパイの一人ジュリア...	1秒の文字数制限(1秒4文字)	警告

**警告：**  
警告を表示しています。警告のみであれば、エクスポート可能です。

[Export]ボタンをクリックします。

●エラーが存在する場合

済	トラック	字幕番号	字幕	チェック項目	チェック結果
<input type="checkbox"/>	A	9	Canvass 横上 行...	横字幕の配置(横上)	警告
<input type="checkbox"/>	A	9	Canvass 横上 行...	1秒の文字数制限(1秒4文字)	警告
<input type="checkbox"/>	A	10	Canvass 横上 行...	横字幕の縮え位置	エラー
<input type="checkbox"/>	A	10	Canvass 横上 行...	横字幕の配置(横上)	警告
<input type="checkbox"/>	A	10	Canvass 横上 行...	1秒の文字数制限(1秒4文字)	警告
<input type="checkbox"/>	A	11	Canvass 横通 中...	1秒の文字数制限(1秒4文字)	警告
<input type="checkbox"/>	A	12	Canvass 横通 中...	1秒の文字数制限(1秒4文字)	警告
<input type="checkbox"/>	A	13	Canvass 横通 中...	横字幕の縮え位置	エラー
<input type="checkbox"/>	A	13	Canvass 横通 中...	1秒の文字数制限(1秒4文字)	警告
<input type="checkbox"/>	A	14	Canvass 横通 行...	横字幕の縮え位置	エラー
<input type="checkbox"/>	A	14	Canvass 横通 行...	1秒の文字数制限(1秒4文字)	警告
<input type="checkbox"/>	A	15	Canvass 横通 行...	横字幕の縮え位置	エラー
<input type="checkbox"/>	A	15	Canvass 横通 行...	1秒の文字数制限(1秒4文字)	警告
<input type="checkbox"/>	A	16	Canv 縦左 中央123	縦字幕の縮え位置	エラー
<input type="checkbox"/>	A	16	Canv 縦左 中央123	1秒の文字数制限(1秒4文字)	警告
<input type="checkbox"/>	A	17	Canv 縦左 中頭123	縦字幕の縮え位置	エラー
<input type="checkbox"/>	A	17	Canv 縦左 中頭123	1秒の文字数制限(1秒4文字)	警告
<input type="checkbox"/>	A	18	Canv 縦左 中末123	縦字幕の縮え位置	エラー
<input type="checkbox"/>	A	18	Canv 縦左 中末123	1秒の文字数制限(1秒4文字)	警告
<input type="checkbox"/>	A	19	Canv 縦左 行頭123	1秒の文字数制限(1秒4文字)	警告
<input type="checkbox"/>	A	20	Canv 縦左 行末123	縦字幕の縮え位置	エラー
<input type="checkbox"/>	A	20	Canv 縦左 行末123	1秒の文字数制限(1秒4文字)	警告
<input type="checkbox"/>	A	21	Canv 縦右 中央123	縦字幕の縮え位置	エラー
<input type="checkbox"/>	A	21	Canv 縦右 中央123	1秒の文字数制限(1秒4文字)	警告
<input type="checkbox"/>	A	22	Canv 縦右 中頭123	縦字幕の縮え位置	エラー
<input type="checkbox"/>	A	22	Canv 縦右 中頭123	1秒の文字数制限(1秒4文字)	警告

**エラー：**  
Netflix 向け cap ファイルを出力する要件に反しています。修正し、sdb ファイルを保存しない限り[エクスポート]はクリックできません。

「済」項目にチェックを入れることで修正の有無を管理することができます。

【Netflix チェック項目仕様】

以下の項目に反している場合、エラー もしくは 警告 としてチェック結果画面に表示する。

画面表示内容	動作	Netflix 仕様	チェック項目
横字幕の揃え位置	エラー	横字幕は中頭揃えか中央揃えにする。	横字幕の行配置が「中頭」か「中央」以外になっていないかを確認する。
縦字幕の揃え位置	エラー	縦字幕は右か左の行頭揃えにする。	縦字幕の行配置が「行頭」以外になっていないかを確認する。
文字数制限(横字幕)	警告	横字幕 全角で1行 14 文字以内	スペースをカウントせず、半角文字は 0.5 とカウントして、15 文字以上になっていないかを確認する。 (※1)
文字数制限(縦字幕)	警告	縦字幕 全角で1行 12 文字以内	スペースをカウントせず、組文字は全部で1文字分とカウントし、13 文字以上になっていないかを確認する。
字幕表示時間制限 (最低 12 フレーム)	警告	最低 12 フレームが必要。	Duration の数値が 12 フレーム以上あるかを確認する。
字幕行数制限	3 行を超える 字幕：エラー 3 行の字幕：警告	最大 2 行。焼き込み字幕またはテロップの訳のときは、内容によって、3 行になっても可。 オーディオコメンタリーは、話者名が一行目に来る 3 行字幕まで可。	1 つの字幕のハコの中において、何行表記されているかを確認する。
横字幕の配置(横上)	警告	横上は使用禁止	一つ一つの字幕の配置を確認。横字幕の表示位置が「横上」以外になっているかを確認する。
1 秒の文字数制限 (1 秒 4 文字)	警告	1 秒 4 文字まで。	1 秒 4 文字を超えている字幕を抽出 (※2)

※1：SSTG1 の文字カウント設定とは連動せず、全角を 1 文字、半角を 0.5 文字とカウントします。

※2：SSTG1 の文字カウント設定と連動し、文字カウントに設定した通りにカウントします。文字カウントに設定されていない文字は 1 文字とカウントします。

## ●ビデオトロン/ラムダのインポート

—制御記号の読み込み仕様を追加・変更しました。

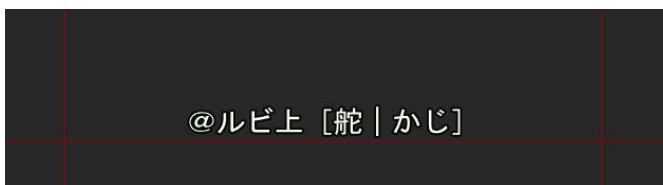
### a. 「@」の読み込み

制御記号「@」を、範囲指定のカッコ「[ ]」で範囲指定する場合に「@」で閉じるが、この最後の「@」を読み間違えることがありました。

今回のバージョンでは、「@」と「[ ]」が含まれる文字列を正しく読み込むように仕様を変更しました。

例) cap コマンド： @ルビ上 [舵 | かじ] @中央

#### ■これまでのバージョン



←「ルビ上 [舵 | かじ]」を「@」で囲っているが、後ろの「@」が、その後ろの文字である「中央」と合わさってしまい、「@中央」というコマンドと解釈してしまっている。

#### ■今回のバージョン



←「ルビ上 [舵 | かじ]」というコマンドで読み込んで、「舵」の文字の上に「かじ」とルビを振り、その後「中央」という文字を字幕として表示させる。

### b. 範囲指定の外にある制御記号の読み込み

範囲指定の制御記号（[ ] など）の外にある制御記号を読み込めるようにしました。

例) cap コマンド： 約@組 [10] @年前 東京 @縦右 @行頭 @斜3

#### ■これまでのバージョン



「@組[10]@」で、数字の「10」を組文字にして、その外で「@斜3」で斜体を指定しているが、「@斜3」のコマンドを認識せず、「10」の部分のみ正体となっている。ただし、「@縦右」と「@行頭」のコマンドは認識している。

#### ■今回のバージョン



「@組[10]@」の外にある「@斜3」のコマンドも読み込み、「10」という数字を組文字にして、斜体をかける。

c. ルビコマンドの読み込める種類の追加

ルビコマンドの読み込める種類として、“@ルビ [●● | ●●] @” を追加しました。  
これまでのバージョンでは、「@ルビ」の後ろに、ルビの位置を指定する「上」または「下」という文字が必要でした。  
今回のバージョンでは、「上」「下」という文字がない場合でもルビコマンドとして認識し、ルビとしてインポートします。その際のルビの配置については、フォーマット設定に準拠します。

例) cap コマンド： @ルビ[舵 | かじ]@を取れ

■これまでのバージョン

舵 | かじ]@を取れ@ルビ[

←「@ルビ」コマンドに「上」「下」の指定がないため読み込みエラーとなる。

■今回のバージョン

<sup>かじ</sup>  
舵を取れ

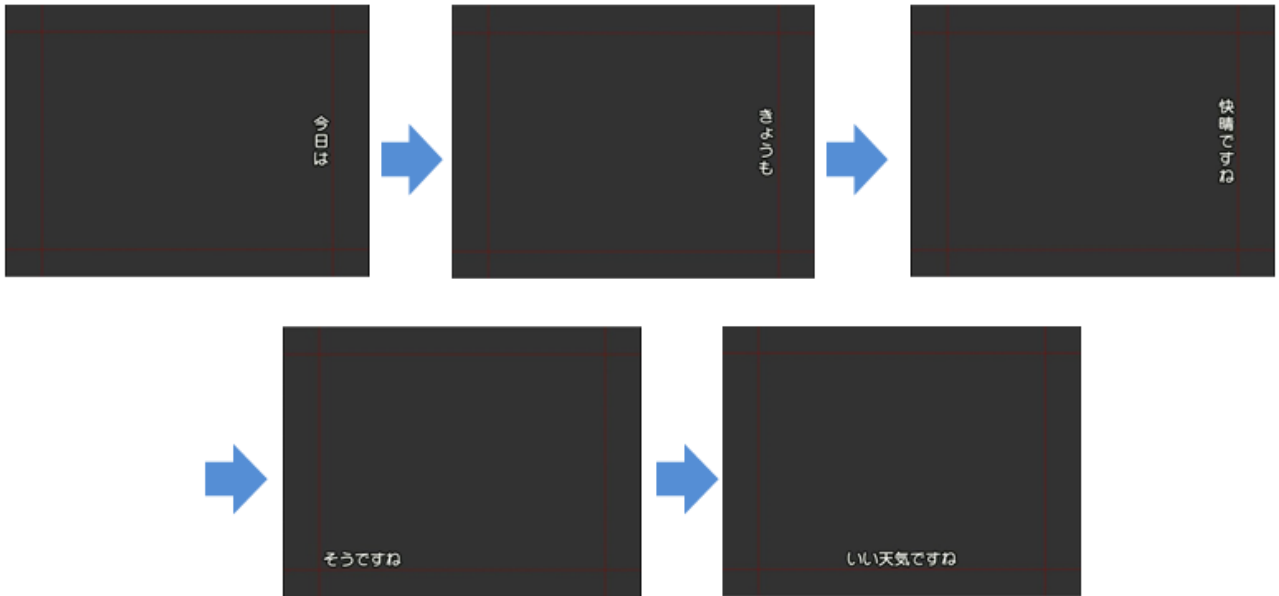
←「@ルビ[舵 | かじ]@」をルビコマンドとして読み込み、「舵」に「かじ」とルビ付く。

d. 制御記号「!(エクスクラメーションマーク/全角)」の追加

制御記号に「!(エクスクラメーションマーク/全角)」を追加しました。  
「!」がついたコマンドは、それ以降の字幕全てに継続して適用されます。ただし、別の制御記号が付くと、そちらの制御記号が優先されます。また、それ以降の字幕は「!」がついたコマンドは無効となり、デフォルトの設定になります。

例) cap コマンド：  
1 00000300/00000600 今日は @縦右! @中頭!  
2 00000700/00001000 きょうも  
3 00001100/00001400 快晴ですね  
4 00001500/00001700 そうですね @横下 @行頭  
5 00001800/00002000 いい天気ですね

■インポートした際の画面遷移(SSTG1 のデフォルトフォーマット設定が「横下」「中頭」のとき)



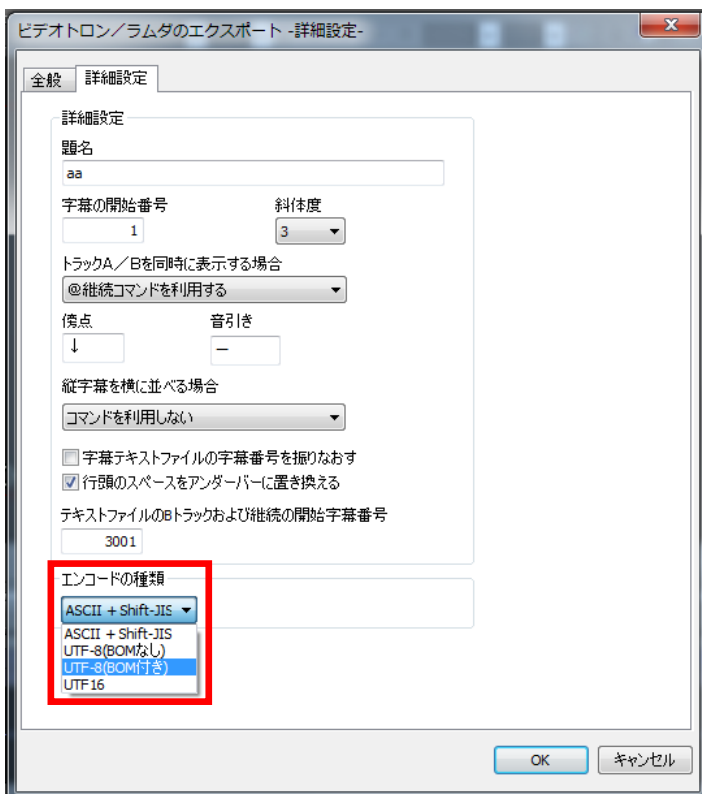
デフォルトフォーマットの設定になる

●ビデオトン/ラムダのエクスポート

–エクスポートする際に BOM(byte order mark)を付与できるようになりました。

エクスポート時のエンコードの種類において、UTF-8 でエクスポートする場合に BOM(byte order mark)を付与できるようになりました。

[詳細設定]タブの「エンコードの種類」から設定が行えます。



### 3) ドングル更新手順

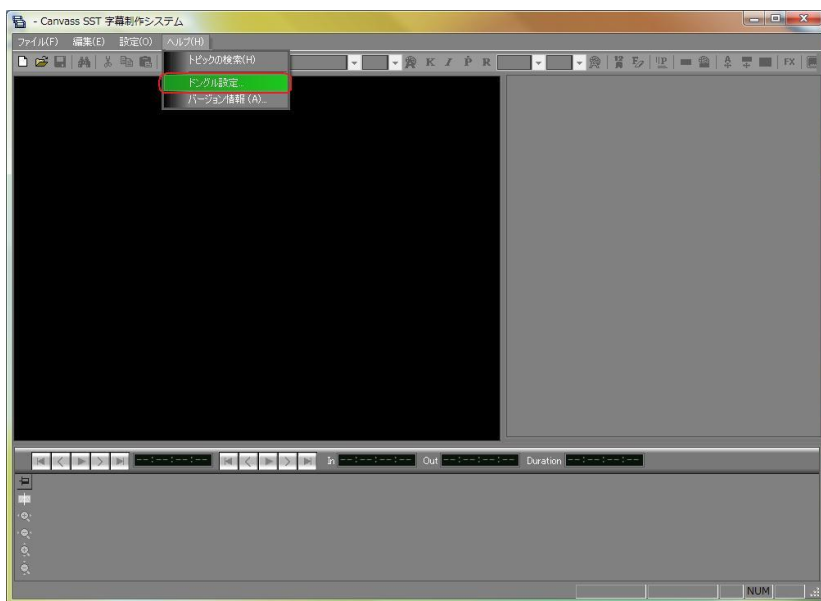
①SSTG1 をダブルクリックして立ち上げます。

※プロジェクトファイルも映像データも開かないでください。

※**ドングル更新前に本バージョンアップを適用すると、SSTG1 が立ち上がらなくなります。**

その場合は 11 ページ目「※ドングル更新前にバージョンアップを行ってしまった場合」をご覧ください。

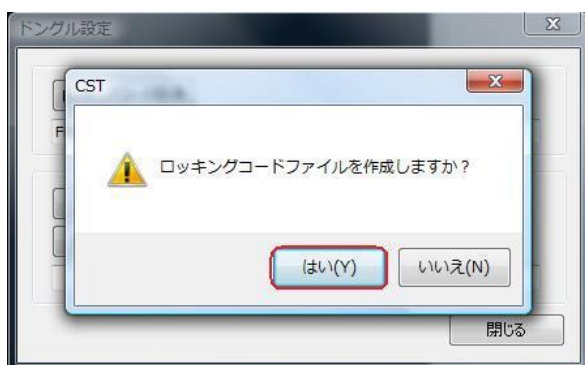
②[ヘルプ] メニューの [ドングル設定] をクリックします。



③[ロッキングコード取得] をクリックします。

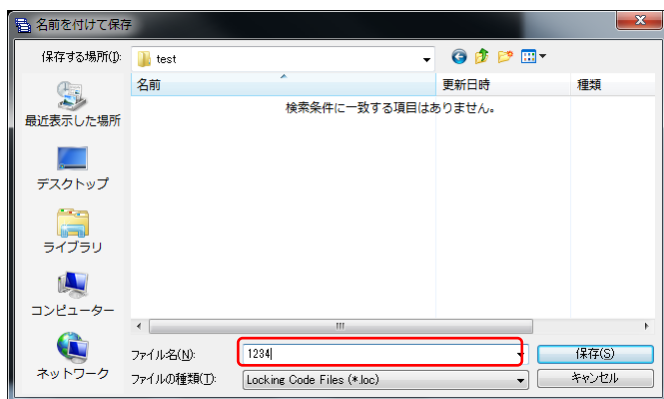


④[ロッキングコードファイルを作成しますか?] とメッセージが出るので、[はい] をクリックします。





⑤ ドングル番号（数字またはアルファベット混合の4桁の番号）をファイル名として入力し、保存先を指定し、[保存] をクリックしてください。



⑥ ファイル名が入っていることを確認し、[閉じる] をクリックします。



⑦ 保存先に、.loc ファイルが出来ます。このファイルを添付して株式会社カンバス宛にメールしてください。

メールアドレス [sales@canvass.co.jp](mailto:sales@canvass.co.jp) ※お名前を明記してください。



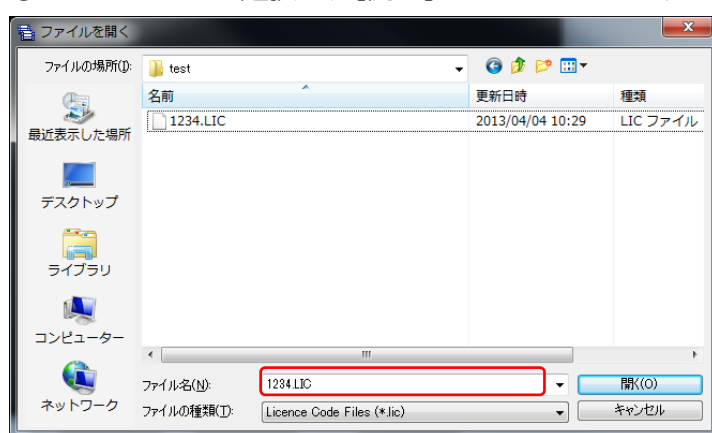
⑧ 株式会社カンバスから、.lic ファイルを添付したメールが来ます。このファイルをパソコン上に保存してください。



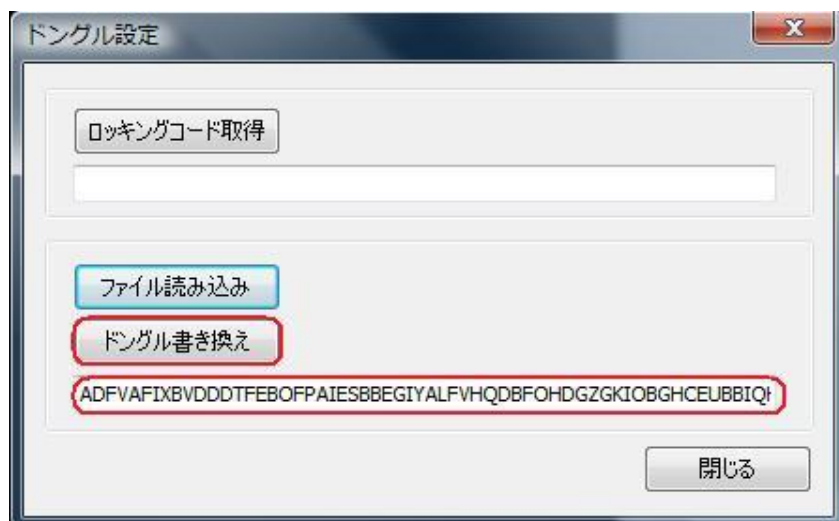
⑨②を参考に、[ドングル設定]のダイアログを表示し、[ファイル読み込み]をクリックします。



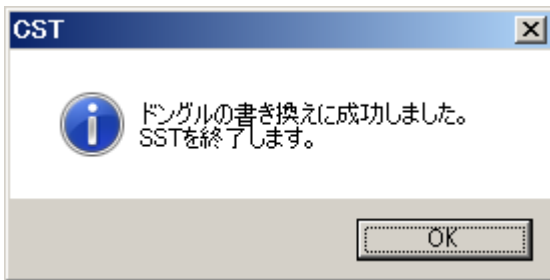
⑩. lic ファイルを選択し、[開く]をクリックします。



⑪ファイル名が入っていることを確認して、[ドングル書き換え]をクリックします。



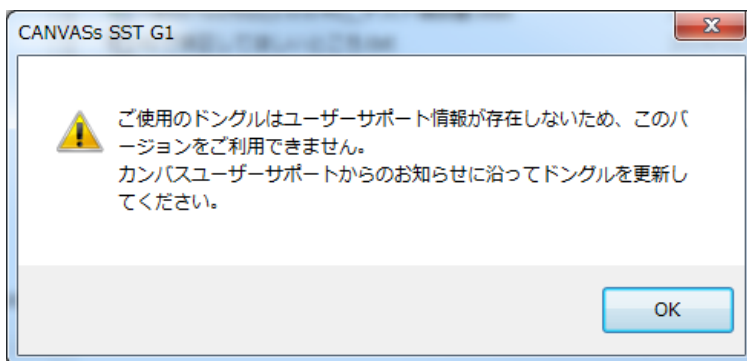
⑫ドングル書き換えが完了します。



これ以降、今回の機能が使用できるようになり、起動時のサポート切れのダイアログは表示されなくなります。

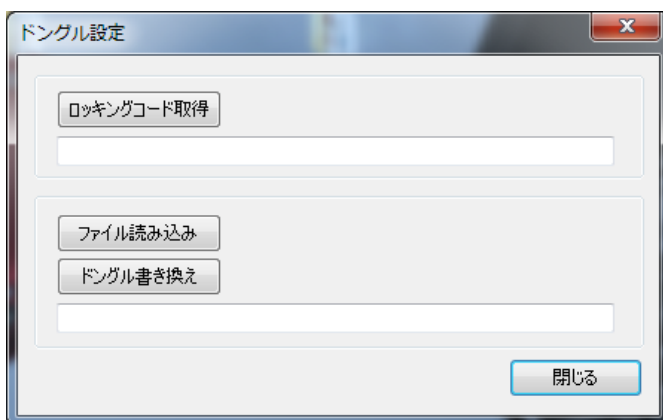
### ※ドングル更新前にバージョンアップを行ってしまった場合

本バージョンアップファイル適用後は、ドングル更新を行っていない場合、サポート期間が有効期間内でもG1を起動すると下記のようなメッセージが表示されます。



[OK]をクリックすると、ドングル設定画面が表示されます。

<ドングル更新手順>の③からの手順に沿って、株式会社カンバス宛にロッキングコードをお送りください。



また、⑨からの手順は、Ver. 2.0.45.2 の G1 起動時に表示されるドングル設定画面にて実施してください。